

SONY

Live Content Producer

AWS-G500

AWS-G500HD

スイッチャー、ミキサー、モニターなど
ライブ中継に必要な機能を集約。
エニークャストステーション
持ち歩けるサブスタジオ〈Anycast Station〉



オールインワン ライブスイッチャー

ANYCAST STATION

sony.jp/aws/

●本カタログに掲載の価格には、配送設置・工事・接続調整などの費用は含まれていません。

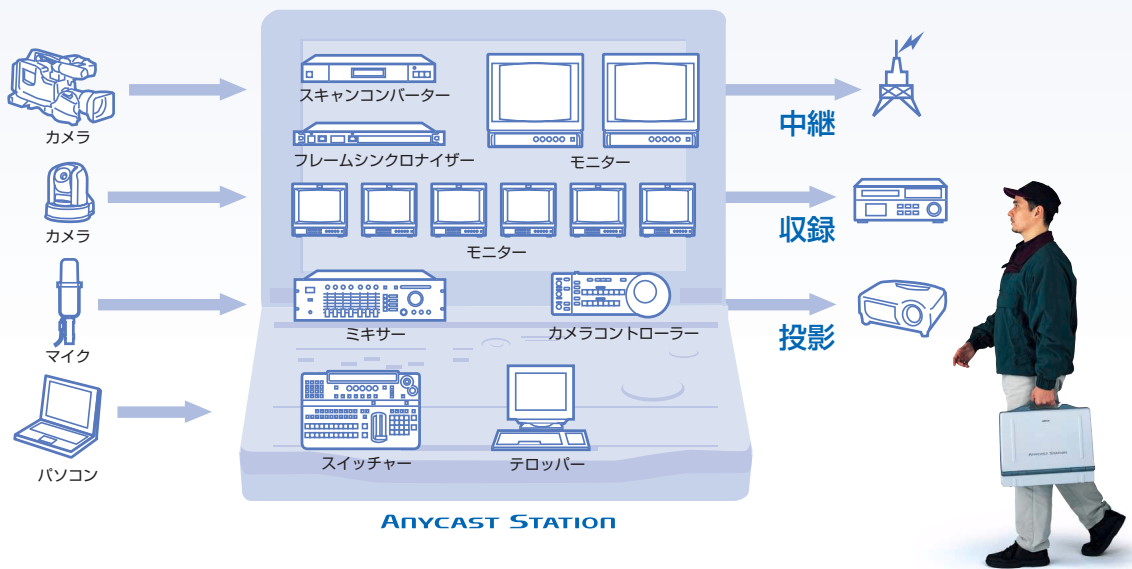
サブスタジオの機能をアタッシュケースサイズに凝縮。 ライブ中継・収録現場でのニーズに応える、〈Anycast Station〉

HD、SD、PCなど、さまざまな映像を駆使するライブイベント。その中継・収録・演出のワークスタイルを変革する新ソリューションとして、ライブコンテンツ・プロデューサー Anycast Stationは誕生しました。

ソニーの映像技術とIT技術を融合したAnycast Stationは、ライブイベントにおける強力なコンテンツ制作ツールとして、ビデオスイッチャー、オーディオミキサー、液晶モニター、

テロップャー、カメラコントロール機能などをアタッシュケースサイズに集約したオールインワン設計です。また、ハイビジョンによる映像制作が増えている昨今の現場状況に合わせ、ハイビジョン対応の入出力ボードを標準装備し、HD-SDIやアナログHDの入出力に対応するAWS-G500HDを新たにラインアップ。オプションの入出力ボードを追加することにより、SDからHD、PCまでAnycast Station1台でオペレーションできます。

Live Style Innovation



All-in-one
Easy Operation
Multisource

ライブコンテンツ・プロデューサー
AWS-G500

希望小売価格2,205,000円(税抜価格2,100,000円)
SDビデオインターフェースモジュールBKAW-570 (×2)
PCビデオインターフェースモジュールBKAW-550 (×1)
標準搭載モデル

ライブコンテンツ・プロデューサー
AWS-G500HD

希望小売価格2,436,000円(税抜価格2,320,000円)
HD SDIモジュールBKAW-590 (×1)
HDビデオインターフェースモジュールBKAW-560 (×1)
標準搭載モデル

ANYCAST STATION

※画面はハメコミ合成です。 ※掲載商品の画像は一部国内仕様と異なります。

2 ※少数クライアント向けの簡易型ストリーミングサーバーを内蔵しています。本機のストリーミングエンコーダーはRealNetworks, Inc.のコーデック技術を採用しています。

Anycast Stationの特長

All-in-one

■ オールインワン

Anycast Stationは、ライブコンテンツ制作に必要な、さまざまな機材をオールインワンで搭載しています。わずかなスペースに設置でき、設置の手間もかかりません。大きなモニターなどを持ち運ぶ必要もありません。



Multisource

■ マルチソース

入れ替え可能なモジュール形式のインターフェースを装備。モジュールの交換により、全7種類の映像信号を入力できます。コンポジットなどのSD信号はもちろん、パソコン映像やHD-SDIなどのHD信号も1台のAnycast Stationで扱え、信号の混在も可能です。

※ボードの構成により対応可能となる信号は異なります。

Easy Operation

■ イージーオペレーション

1台のAnycast Stationにスイッチャーやミキサーなどを効率よく搭載し、直感的なインターフェースを実現。オペレーションには、専門的な知識は必要ありません。また、カメラコントロール機能も装備。BRC-H700などの回転型リモートカメラシステムと組み合わせると、スイッチングからカメラコントロールまでワンマンオペレーションが可能になります。



回転型3CCD
カラービデオカメラ
BRC-300
希望小売価格672,000円
(税抜価格640,000円)



回転型HD 3CMOS
カラービデオカメラ
BRC-Z700
希望小売価格966,000円
(税抜価格920,000円)



回転型HD 3CCD
カラービデオカメラ
BRC-H700
希望小売価格997,500円
(税抜価格950,000円)

■ 各部名称

A: 素材ディスプレイ

各入力素材のサムネイル映像を表示します。プログラム出力およびプレビュー出力に選択された素材のウィンドウフレームはそれぞれ赤、オレンジ色になります。

B: ガイドディスプレイ

ズーム、パン、チルト、フォーカス、アイリスなど、VISCA接続しているカメラのコントロール方法を表示します。「NEXT」ボタン列で選択されたカメラのポジションメモリの数/名称も表示されます。

C: プレビューディスプレイ

映像切り換え後に次のプログラム出力として選択される素材を表示します。

1: ビデオスイッチャー

- ボタンやフェーダーによって入力された映像を切り換えます。
- ビデオ入力×6、静止画像入力×1
- 1キーヤーを装備した1M/E (ルミナンスキー/クロマキーを選択可能)

2: オーディオミキサー

- 入力音声のミキシングレベルおよびプログラム出力レベルを調整します。
- チャンネルフェーダー×6、マスターフェーダー×1

3: アクセスポタン

アクセスポタンを押すと、関連入力のコントロールメニューが液晶スクリーン上に呼び出されます。ビデオとオーディオのさまざまなパラメーター設定を行うことができます。

4: ミキサーモニターコントロール

オーディオモニターの出力レベル、トークバックのON/OFF、ならびにオーディオモニター、内蔵スピーカーおよびヘッドホン出力のディマースON/OFFをコントロールします。



D: プログラムディスプレイ

現在プログラム出力として選択されている映像を表示します。

E: ストリーミングディスプレイ

ストリーミング映像のパラメーターおよびサーバーの現ステータスを表示します。

F: 内蔵ステレオスピーカー

G: スイッチャーパラメーターディスプレイ

現在選択されているエフェクトパターンをアイコンで表示します。エフェクトおよびDSKのトランジション時間も表示されます。

5: オンラインボタン

ストリーミング配信機能を始動、停止させます。また、外付けハードディスクドライブに録画を開始します。

6: メニュー操作/カメラコントロール

一般的なメニュー選択/設定はメニューボタンとジョグローラーを用いて行います。ここではVISCA接続したカメラのパン、チルト、ズームをコントロールすることもできます。またポジションメモリにより、パン/チルト/ズーム設定を記憶させることができます。

7: 外部機器コントロール

ビデオ再生に用いる外部ハードディスクドライブのコントロールを行います。ジョグダイヤルおよびシャトルダイヤルを用いて、VISCA接続されたカメラのフォーカス/ズームをコントロールすることもできます。

8: トークバックマイク

トークバックに使用します。インターカムシステムを利用する場合は、リアパネルにインターカムコネクタも装備しています。

9: ワイヤレスキーボード

キーボードを裏返してリストラストとしても利用可能。

オールインワン設計

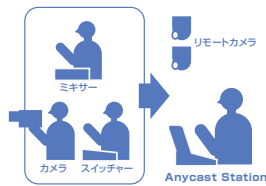
イベント収録・中継・演出に必要なビデオスイッチャー、オーディオミキサー、テロップなどをはじめ、さまざまな機能をわずか8kgのアタッシュケースサイズに集約。機器間の配線や面倒な信号調整も不要です。

機材コストのセーブ

機材を個別に購入する場合に比べ、導入コストを低く抑えられます。また、可搬型なので、1台のAnycast Stationをさまざまな場所で活用できます。

少人数でのオペレーション

コンパクトサイズの実現と、使いやすいインターフェースで、ワンマンオペレーションを実現。少人数での運用が可能となります。



セッティングの時間短縮と確実性の向上

機器間の配線や面倒な信号調整が不要で、多くの機材をセッティングする必要がないため、短時間でセッティングできます。また、配線ミスなどのトラブルが発生する可能性が少なくなります。

優れた操作性

■ 一体型による簡単な操作

ライブイベントのオペレーションを非常に簡単に行うことができます。直感的に操作できるコントロールパネルや大型液晶ディスプレイを備えているため、スイッチャーやミキサーなどの操作について、専門的知識がほとんど必要ありません。Anycast Stationを使えば、希望に応じた入力信号の切り換えがとても簡単です。すべての入力映像とプレビュー映像、出力映像が大型液晶ディスプレイ上で一覧できます。また、パラメーター調節などのコントロールも極力簡略化されています。



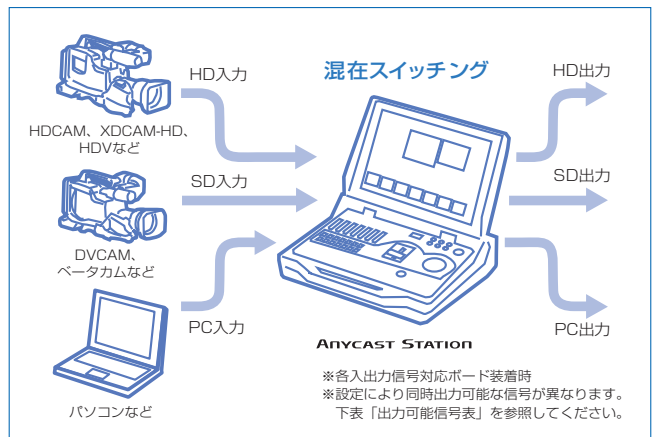
■ リモートカメラの遠隔制御

Anycast StationはVISCA* コントロールを装備しており、ジョグダイヤルやシャトルダイヤルによるアイリス、フォーカス、ズームのコントロールに加え、パンおよびチルトなど、VISCA搭載のカメラ（旋回型HD 3CCDカラービデオカメラBRC-H700など）をAnycast Stationのコントロールパネル上で制御することができます。

*Video System Control Architecture の略称で、さまざまなビデオ機器をコンピューターとインターフェースするための通信プロトコルです。

HD/SD/PCの混在スイッチングが可能

高性能スキャンコンバーターと高解像度の信号処理により、各種入力ボードの組み合わせで、HD/SDのビデオ信号からPC信号まで、各種素材のライブスイッチングが可能になります。さらに、各種素材の混在も可能。入力された各素材はコンバートされて、1280×1024の解像度で内部処理。画像の劣化を最小限に抑えながら、解像度を意識せずに素材を切り換えられます。たとえば、コンポジット入力されたカメラの映像とHD-SDIで入力されたHDカメラの映像を合わせてスイッチングし、HD VTRIに収録しつつ、中継にはSD信号を受け渡す、というような運用も可能です。また、フレームシンクロナイザーも内蔵しており、カムコーダーからの非同期信号も使用可能です。



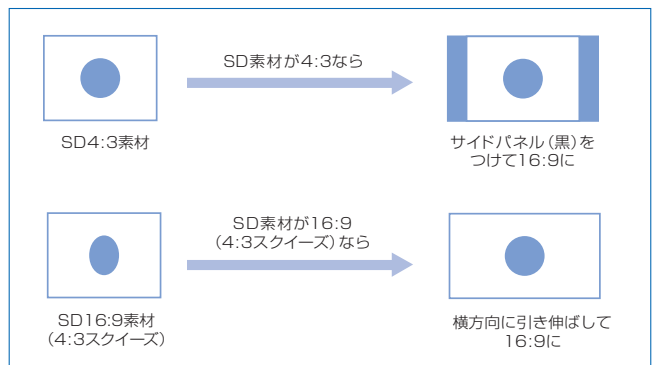
同時出力可能信号表

		出力		
		本体搭載出力	オプションボード搭載出力	
		SD/PC	SD	HD
Anycast Station	SDモード時	○	○	—
出力設定	HDモード時	○	—	○

※入力に関しては、出力設定に関わらず各信号の同時入力が可能です。

■ 4:3と16:9の混在も可能

画角が異なるSD4:3素材とSD16:9素材、またはHD16:9素材を違和感なく混在させることができます。HD/SD混在の環境下で画角の違いを意識することなくシームレスに運用できます。



※HD16:9素材のSDダウンコンバート出力は4:3スクイーズになります。

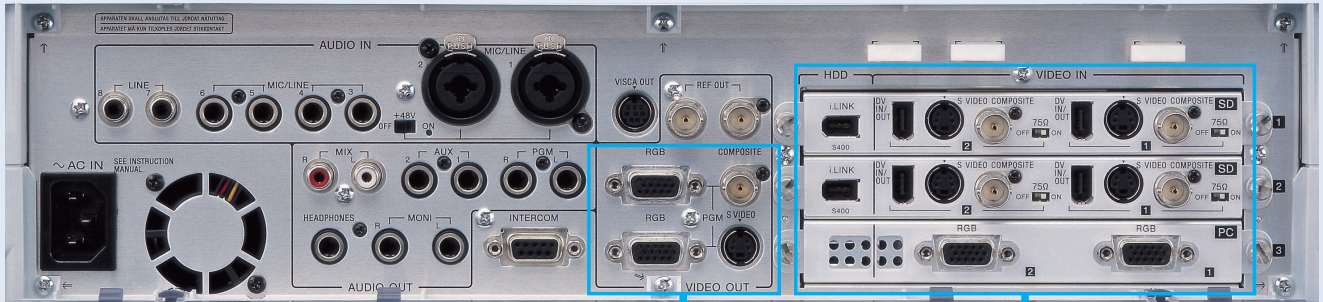
フレキシブルなビデオ入出力構成

Ancast Stationは、以下の入出力に標準対応しています。さらに、オプションのインターフェースモジュールと組み合わせることにより、さまざまな信号の入出力が可能になります。インターフェースモジュールは、基板が保護されたフルカバーデザインで着脱も簡単。多様なフォーマットへの対応を要求されるイベントや各種中継現場で迅速な対応が可能です。



AWS-G500 / AWS-G500HD 左サイドパネルコネクター

AWS-G500標準構成

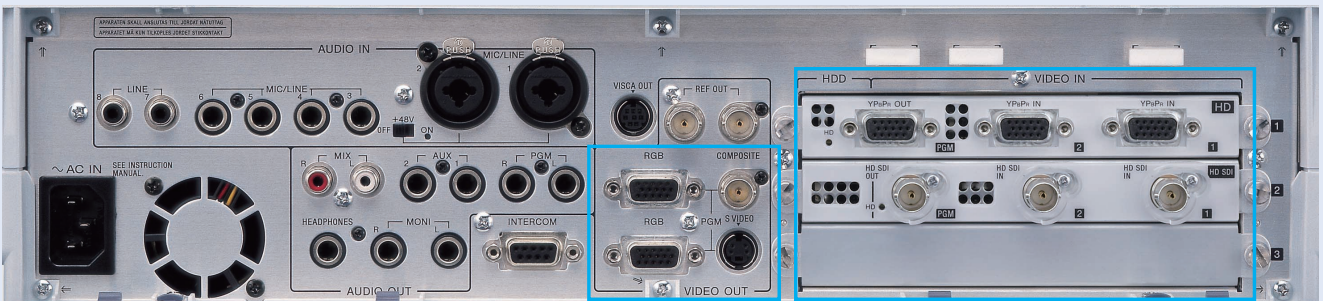


AWS-G500 リアパネルコネクター

出力	コンポジット × 1	+	入力	コンポジット × 4
	Sビデオ × 1			Sビデオ × 4
	RGB (PC) × 2			DV* × 4
				RGB (PC) × 2
				DV* × 1

*DVは入出力兼用端子です。また、DV出力はAncast Stationから1系統のみとなります。

AWS-G500HD標準構成



AWS-G500HD リアパネルコネクター

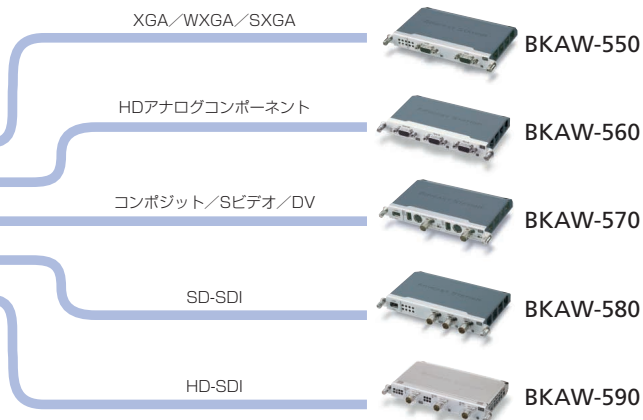
出力	コンポジット × 1	+	入力	HD SDI × 2
	Sビデオ × 1			HDコンポーネント × 2
	RGB (PC) × 2			出力
				HDコンポーネント × 1

■コンポジットからHD-SDIまで、必要な映像信号に合わせてボードを選択

3スロットを自由に組み
合わせるができます。



ANCAST STATION



テロップ作成ソフトウェアを搭載

テロップ作成ツール「テキストタイピングツール」を搭載しています。「テキストタイピングツール」を起動すると、メインのGUIに替わって専用GUIが現れ、簡単にテロップを作成できます。作成したテロップは、Anycast Stationに内蔵されたハードディスクに保存できます。保存したテロップは、ライブ中に専用のDSKチャンネルを使って載せられるほか、テロップのキーにワイプやディゾルブ効果をかけて載せることも可能です。また、テロップ文字のバリエーションを増やすために、別途 TrueTypeフォントをインストールすることもできます。

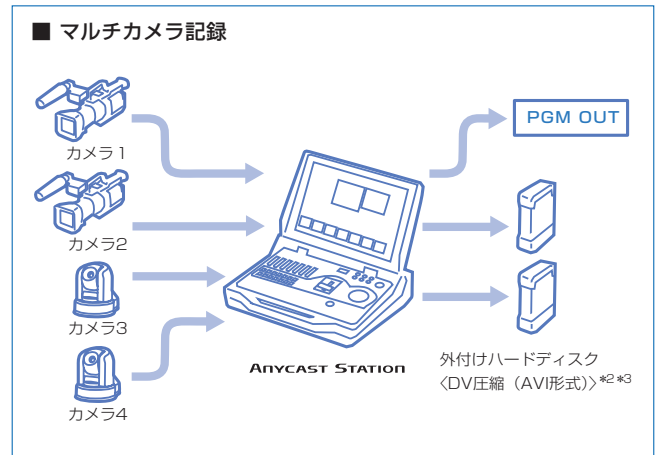


テキストタイピングツール

※画像は合成によるイメージです。

外付けハードディスクへの記録

ライブイベント中に、Anycast Stationに入力されている入力素材映像とプログラムアウト映像を、IEEE 1394経由で外付けハードディスク*1に記録できます。入力映像かプログラム信号を選択して、外付けハードディスク1台につき、同時に2つの映像を記録できます*1。外付けハードディスクを2台用意すれば、入力映像の4チャンネル同時記録、または入力映像3チャンネルとプログラムアウト1チャンネルの記録が可能です。これらの映像はすべてDV圧縮のAVIファイルとして記録されます。記録後は、Anycast Stationからジョグ/シャトルなどのコントロールをしながら素材として再生することができます。



*1 外付けハードディスクへの記録する組み合わせによって、DV入出力に制限が出る場合があります。

詳しくは、sony.jp/aws/ で、ご確認ください。

*2 動作検証済み外付けハードディスクなどの詳細な情報は、sony.jp/aws/ で、ご確認ください。

*3 HD入力素材のハードディスク記録はできません。また、HDフォーマットでのファイル記録はできません。

効率的にレイアウト。操作&メニュー画面

リリース済みのVer2.1iより、操作画面やメニュー画面がすべて日本語にも対応しています。



大型液晶ディスプレイ画面

※画像は合成によるイメージです。

別売アクセサリ



PCビデオインターフェースモジュール
BKAW-550
希望小売価格210,000円
(税抜価格200,000円)



SDビデオインターフェースモジュール
BKAW-570
希望小売価格199,500円
(税抜価格190,000円)



シリアルデジタルインターフェースモジュール
BKAW-580
希望小売価格283,500円
(税抜価格270,000円)



HDビデオインターフェースモジュール
(HDアナログコンポーネント対応)
BKAW-560
希望小売価格367,500円
(税抜価格350,000円)

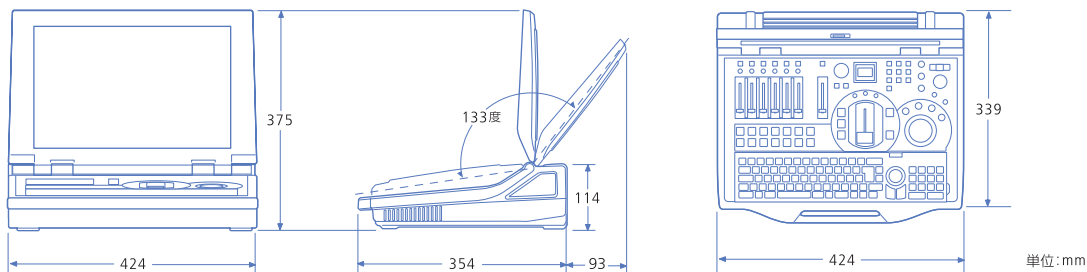


HD SDIモジュール
BKAW-590
希望小売価格 472,500円
(税抜価格 450,000円)

主な仕様	
BKAW-550 PCビデオインターフェースモジュール (AWS-G500本体スロット3に標準装備)	
RGB	ミニD-sub 15ピン(凹) ×2 XGA (1024×768 60Hz、70Hz、75Hz) WXGA (1280×768 60Hz) SXGA (1280×1024 60Hz、75Hz)
BKAW-560 HDビデオインターフェースモジュール (AWS-G500HD本体スロット1に標準装備)	
Y Pb/Pr IN	ミニD-sub 15ピン(凹)×2 720/50p、720/59.94p、1080/50i、1080/59.94i Y: 1.0Vp-p (75Ω) 同期付き Pb/Pr: 0.7Vp-p (75Ω)
Y Pb/Pr OUT	ミニD-sub 15ピン(凹)×1 720/50p、720/59.94p、1080/50i、1080/59.94i Y: 1.0Vp-p (75Ω) 同期付き Pb/Pr: 0.7Vp-p (75Ω)
BKAW-570 SDビデオインターフェースモジュール (AWS-G500本体スロット1、2に標準装備)	
コンポジット	BNC×2 VIDEO: 1.0Vp-p (75Ω) 同期負
S-VIDEO	DIN×2 Y: 1.0Vp-p (75Ω) 同期負 C (BURST): 0.286Vp-p (75Ω) (NTSC)
DV IN/OUT*	i.LINK (IEEE1394規格) 6ピン×2 / IEC 61883-2準拠
HDD	i.LINK (IEEE1394規格) 6ピン×1 HDD IF: SBP2
BKAW-580 シリアルデジタルインターフェース (SDI) モジュール	
SDI IN	BNC×2 VIDEO: 800mVp-p (75Ω)、SMPTE 259M-C、ITU-R656準拠 AUDIO: サンプリング周波数: 20bit 48kHz 2ch (1/2chまたは3/4ch)、SMPTE 272M-A準拠
SDI OUT	BNC×1 VIDEO: 800mVp-p (75Ω)、SMPTE 259M-C、ITU-R656準拠 AUDIO: サンプリング周波数: 20bit 48kHz 2ch (1/2ch)、SMPTE 272M-A準拠
i.LINK	IEEE1394 S400 6ピン×1、HDD IF: SBP2
BKAW-590 HD SDIモジュール (AWS-G500HD本体スロット2に標準装備)	
HD-SDI IN	BNC×2 VIDEO: 800mVp-p (75Ω)、SMPTE 292M準拠 1080/50i、1080/59.94i、720/50PsF、720/59.94PsF AUDIO: サンプリング周波数: 20bit 48kHz 2ch (1/2chまたは3/4ch)、SMPTE 299M準拠
HD-SDI OUT	BNC×1 VIDEO: 800mVp-p (75Ω)、SMPTE 292M準拠 1080/50i、1080/59.94i、720/50PsF、720/59.94PsF AUDIO: サンプリング周波数: 20bit 48kHz 2ch (1/2ch)、SMPTE 299M準拠

* 設定によって該当モジュールの出力が制限される場合があります。

外形寸法



主な機能

ビデオスイッチャー	
構成	6プライマリー入力と1内部静止画 1M/E+1キーヤー+DSK+LOGO
入力信号レベル制御	輝度信号レベル/オフセットレベル/クロマ信号レベル/色相 (HUE)
エフェクト	トランジション: MIX WIPE / パターン16種類 アニメーション: P in P 3サイズ
KEY信号	キーヤー: 入力信号または内部静止画 DSK: 内部静止画 LOGO: 内部静止画
キータイプ	キーヤー: クロマキー/ルミナスキー/アルファチャンネル DSK: ルミナスキー/アルファチャンネル LOGO: ルミナスキー/アルファチャンネル
内部静止画	カラーマット カラーバー (SMPTE/EBU) セーフエリア インポート画像: BMP、TIFF、TGA、JPG
映像アスペクト比	4.3/16.9
オーディオミキサー	
構成	INPUT: 8モ/ラル入力またはDV/SD-SDI/HD-SDIエンベデッド ステレオオーディオミキシング: 6ステレオミキシング 出力: PGM (ステレオ) / MIX (ステレオ) / AUX1 / AUX2
機能 (各入力)	入力トリム: -15~+15dB フィルター: Highカット 8kHz、Lowカット 100Hz EQ: 3バンド パラメトリックイコライザー リミッター: 100:1 コンプレッサー: 2:1 パン
トーン信号	100Hz、440Hz、1kHz、10kHz

カメラコントロール	
推奨カメラ	BRC-300、BRC-Z700、BRC-H700
最大制御可能台数	6台
スナップショットメモリー	各カメラごとに6メモリー パン/チルト/ズーム/フォーカス/アイリスを1セットとして
制御ツール	NEXT選択ボタン、ポインター、ジョグダイヤル

ストリーミング	
ストリーミングエンコーダー	RealVideo® Encoder 9 RealAudio® Encoder 8
ビットレート	56 ~ 768kbpsの間で7段階の設定が可能
フレームレート	15fps (typ)
内蔵ストリーミングサーバー	Helix DNA Server
配信可能クライアント数	ビットレートにより5~最大20クライアント
ストリーミング制御	ON LINEボタンを押すことでストリーミングを開始
メタデータ記述	タイトル、作者、著作権
プロトコル	rtsp
オーディオ サンプリング周波数	44.1kHz
解像度	[4:3] 160×120、240×180、320×240 [16:9] 213×120、320×180、426×240

テキストタイピングツール	
解像度	1280×960 RGB 8ビット
オブジェクト	テキスト、線、背景色
修飾	太字、イタリック、下線、エッジ、シャドウ、グラデーション、透明度
フォント	9種類の日本語True Typeフォント
インポート	True Typeフォント (.ttf)
エクスポート	TIFF、TGA
カラーツール	RGB/HSL スライダー、RGB/HSL カラーピッカー
その他	カーニング、センタリング、オーダリング、セーフエリア

ジョブ・マネジメント	
セーブ/ロード	セットアップデータの保存、読み込みが可能
インポート/エクスポート	セットアップデータはメモリースティックかUSBフラッシュ メモリーでインポート/エクスポート可能

主な仕様

	AWS-G500	AWS-G500HD
一般		
電源	AC100~240V、50/60Hz	
消費電力	1.6~0.8A	
動作温度	5~40℃	
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	424×114×339mm (突起部含まず)	
質量	約8.0kg	
映像信号		
ビデオ入力		
コンポジット	BNC×4 VIDEO : 1Vp-p (75Ω) 同期負	—
S-VIDEO	4ピンミニDIN×4 Y : 1Vp-p (75Ω) 同期負、 C (BURST) : 0.286Vp-p (75Ω)	—
DV IN*1	i.LINK (IEEE1394規格) 6ピン×4 IEC 61883-2準拠	—
RGB*2	ミニD-sub 15ピン(凹)×2 XGA (1024×768 60Hz、70Hz、 75Hz)、SXGA (1280×1024 60Hz、75Hz)、VESA (DMT) 準拠、 WXGA (1280×768 60Hz)	—
Y Pb/Pr IN	—	ミニD-sub 15ピン(凹)×2 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i、 Y : 1.0Vp-p (75Ω) 同期付き、 Pb/Pr : 0.7Vp-p (75Ω)
HD-SDI IN	—	BNC×2 720/59.94PsF、720/50PsF、 1080/59.94i、1080/50i、 VIDEO : 800mVp-p (75Ω)、 SMPTE 292M 準拠 AUDIO : サンプリング周波数 : 20bit/48kHz、 2ch (1/2chまたは3/4ch)、 SMPTE 299M 準拠
ビデオ出力		
コンポジット	BNC×1 VIDEO : 1Vp-p (75Ω) 同期負	—
S-VIDEO	4ピンミニDIN×4 Y : 1Vp-p (75Ω) 同期負、 C (BURST) : 0.286Vp-p (75Ω)	—
DV OUT*1*3	i.LINK (IEEE1394規格) 6ピン×4、 IEC 61883-2準拠	—
RGB*4	ミニD-sub 15ピン(凹)×2 15k RGB (50Hz/59.94Hz)、 R/G/B : 0.7Vp-p (75Ω)、 SYNC : 複合同期TTL出力 XGA (1024×768 60Hz、75Hz)、 SXGA (1280×1024 60Hz)、 WXGA (1280×768 60Hz、75Hz)	—
Y Pb/Pr OUT*5	—	ミニD-sub 15ピン(凹)×1 720/59.94p、720/50p、 1080/59.94i、1080/50i、 Y : 1.0Vp-p (75Ω) 同期付き、 Pb/Pr : 0.7Vp-p (75Ω)
HD-SDI OUT*5	—	BNC×1 720/59.94PsF、720/50PsF、 1080/59.94i、1080/50i、 VIDEO : 800mVp-p (75Ω)、 SMPTE 292M 準拠 AUDIO : サンプリング周波数 : 20bit/48kHz、2ch (1/2chまたは 3/4ch)、SMPTE 299M 準拠
REF OUT	BNC×2 Sync : 0.286Vp-p (75Ω)、C (BURST) : 0.286Vp-p (75Ω)	—

	AWS-G500	AWS-G500HD
レコーダーポート		
HDD	i.LINK (IEEE1394規格) 6ピン×2 HDD IF : SBP2	
音声信号		
オーディオ入力		
MIC/LINE 1-2	XLR/TRSコンボ×2 基準レベル : +4dBu、-20dBu、-44dBu、マイク電源 : +48V	
MIC/LINE 3-6	TRS×4 基準レベル : +4dBu、-20dBu、-44dBu	
LINE 7-8	ピンジャック×2 基準レベル : -10dBu	
DV IN*1	i.LINK (IEEE1394規格) 6ピン×4、 IEC 61883-2準拠 オーディオ基準レベル : -20dBFS サンプリング周波数 : 12bit/32kHz (4chのうち1、2chのみ採用)、 16bit/48kHz (2ch)	—
オーディオ出力		
PGM OUT	TRS×2 基準レベル : +4dBu/インピーダンス : 150Ω	
MIX OUT	ピンジャック×2 基準レベル : -10dBu/インピーダンス : 470Ω	
AUX OUT	TRS×2 基準レベル : +4dBu/インピーダンス : 150Ω	
MONITOR OUT	TRS×2 基準レベル : +4dBu/インピーダンス : 150Ω	
DV OUT*1*3	i.LINK (IEEE1394規格) 6ピン×4、 IEC 61883-2準拠 オーディオ基準レベル : -20dBFS サンプリング周波数 : 12bit/32kHz 4ch、16bit/48kHz 2ch	—
HEADPHONES	1/4インチ ステレオ標準ジャック×1 70mW×2/インピーダンス : 47Ω	
INTERCOM	D-sub 9ピン(凹)×1 独自方式パラレルI/O	
その他のインターフェース		
NETWORK	RJ-45×1 10BASE-T/100BASE-TX	
USB	Aタイプ×2 USB準拠	
RGB (GUI)	ミニD-sub 15ピン(凹)×1 WXGA (1280×800 60Hz)	
REMOTE	D-sub 9ピン(凸)×1 (将来の拡張用です) RS-232C	
FACTORY USE	D-sub 15ピン(凸)×1 独自方式パラレルI/O	
MEMORY STICK	メモリースティックスロット	
VISCA	8ピンミニDIN×1 RS-232C (ソニーVISCAカメラコマンドをサポートしています)	
液晶パネル	15.4型 高輝度液晶 WXGA (1280×800 60Hz)	
スピーカー	内蔵スピーカー (20×40mm) ×2	

付属品	
CD-ROM×1、CD-ROMの使い方×1、ピン-BNC変換コネクタ×4、 電源ケーブル×1、3極-2極変換コネクタ(電源)×1、バッテリー(CR2032)、 取扱説明書×1 キーボード×1 : 85キー+ポインター/赤外線通信、電源 (本体から供給)、 バッテリー(CR2032またはCR2032H×2)	

- *1 DV IN/OUTコネクタ
- *2 接続されるコンピューターによっては正常に起動しないことがあります。
- *3 DV OUTはAWS-G500から1系統の出力となります。また、外付けハードディスク機能との兼ね合いにより出力が制限される場合があります。
- *4 RGB信号出力を外部ディスプレイに入力した場合、接続するディスプレイによっては、RGB信号のフレーム周波数と異なる周波数で表示することがあります。その場合、表示された映像が上下にわずかに動いて見えることがあります。
- *5 この出力はPGM OUTアスペクト設定が16:9HDの場合に出力されます。



安全に関する注意 商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●カタログ掲載商品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。●カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で多少異なる場合があります。●Anycast Station、ANycast Station は、ソニー株式会社の登録商標です。●メモリースティック、MEMORY STICK、メモリースティック PRO、MEMORY STICK PRO、メモリースティックPROデュオ、MEMORY STICK PRO Duo、DVCAMは、ソニー株式会社の商標です。●i.LINKはIEEE1394-1995仕様およびその拡張仕様、i はi.LINKに準拠した製品に付けられるロゴです。i.LINK、i は商標です。●その他、記載されている各社名および各商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®は明記していません。

ソニーウェブサイト

sony.jp/pro/

本カタログは再生紙および環境に配慮した大豆インキを使用

※特定市場向け商品などソニーウェブサイトに掲載していない商品もあります

ソニー株式会社

ソニーマーケティング株式会社 / 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

商品に関するお問い合わせは

業務用商品相談窓口

フリーダイヤル ☎ 0120-788-333

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは 0466-31-2588
- FAX 0120-333-389
- 受付時間 9:00~18:00 (土・日・祝日、および年末年始は除く)

2008.10
カタログ記載内容2008年10月現在